

龍ヶ崎市・龍ヶ崎市教育委員会後援
為末 大が小学生にスペシャル授業を展開
「第17回 為末大学食育学部」を開催

茨城県で初開催 龍ヶ崎市立長山小学校・松葉小学校の子どもたちの健やかな成長を願って
開催日時：2017年12月12日(火)8:40~11:20 (報道関係取材受付 8:10~ 随時)
場所：茨城県龍ヶ崎市長山小学校

日本製粉(株)(代表取締役社長:近藤雅之 本店:東京都千代田区)は、CSR活動として元プロ陸上選手の為末 大氏と共同で開催している「為末大学食育学部」を、12月12日(火)に茨城県龍ヶ崎市立長山小学校・松葉小学校の2校合同で実施いたします。

「為末大学食育学部」は、近年の生活環境の社会的な変化に伴い、子どもたちの体力低下やいじめの問題が顕在化している状況を鑑みて、2013年度より実施している特別授業です。小学校高学年の子どもたちを対象に、「心身ともに健康になる」ためのきっかけを与えることを目的としています。授業はそれぞれ「体育の時間」「食育の時間」「話し合いの時間」の3時間で構成されています。



前回の「為末大学食育学部」の様子

今回の「為末大学食育学部」は、当社の竜ヶ崎工場がある茨城県龍ヶ崎市立長山小学校・松葉小学校の2校合同で開催することで、地元への地域貢献も目的としています。また、開催の趣旨にご理解いただきました龍ヶ崎市・龍ヶ崎市教育委員会の後援をいただいております。

「為末大学食育学部」が両校の子どもたちの健やかな成長の一助となることを、そして心に残る思い出の授業になることを願っています。

【「第17回 為末大学食育学部」開催概要】

- 開催日時：2017年12月12日(火)8:40~11:20 (報道関係取材受付:8:10~随時)
- 開催場所：茨城県龍ヶ崎市立長山小学校
- 報道関係者：長山小学校駐車場付近(正門ではございません)
受付場所：※駐車場あり
- 授業内容：
 - 1時間目(8:40~9:25) 『自分へのチャレンジ、体育の時間』(場所:運動場)
指導:為末 大氏 / 対象:長山小学校・松葉小学校 6年生
※雨天決行(雨天の場合は、1時間目より体育館での実施)
 - 2時間目(9:40~10:25) 『明日の体を作る、食育の時間』(場所:体育館)
登壇:為末 大氏 こばた てるみ氏 / 対象:長山小学校・松葉小学校 6年生
 - 3時間目(10:35~11:20) 『多様性を認める、話し合いの時間』(場所:体育館)
登壇:為末 大氏 / 対象:長山小学校・松葉小学校 6年生

《ご参考資料》

1. 授業内容

1 時間目 「体育の時間」	2 時間目 「食育の時間」	3 時間目 「話し合いの時間」
		
ハードルを使った授業。体を動かすことの楽しさや、目標をクリアすることの喜びを感じてもらいます。	「運動会で食べるお弁当」について、子どもたちと一緒に考えます。考えていく中で、食事の大切さや栄養バランスについて理解を促します。	子どもたちが持つ「夢」について話し合うことを通じて、多様性を認めることの大切さ、心のあり方の重要性を学んでもらいます。

2. 先生プロフィール

●為末 大 氏

元プロ陸上選手「一般社団法人アスリート・ソサエティ」代表理事

「侍ハードラー」の異名で知られ、未だに破られていない男子 400m ハードルの日本記録保持者。2001 年エドモントン世界選手権で、男子 400m ハードル日本人初となる銅メダルを獲得。さらに、2005 年ヘルシンキ世界選手権で初めて日本人が世界大会トラック種目で 2 度メダルを獲得するという快挙を達成。オリンピックはシドニー、アテネ、北京の 3 大会に出場。

2010 年、アスリートの社会的自立を支援する「一般社団法人アスリート・ソサエティ」を設立。さらに 2011 年、地元広島で自身のランニングクラブ「CHASKI (チャスキ)」を立ち上げ、子どもたちに運動と学習能力をアップする陸上教室も開催。また、ブータン王国オリンピック委員会のスポーツ親善大使を務めるなど、幅広い活動を続けている。



●こばた てるみ 氏

公認スポーツ栄養士・管理栄養士・健康運動指導士
株式会社しよくスポーツ代表

3 年間の銀行勤務後、スポーツ栄養の世界へ。

日本初の公認スポーツ栄養士 16 名のうちの 1 人。

現在、栄養サポートを行っている「清水エスパルス」をはじめ、競泳オリンピックメダリストやプロ野球、箱根駅伝選手など数多くのサポートを手がける。また、ビジネスマンや OL の方向けのヘルシー&ビューティーレシピの提案や、10 日で 3 万食完売したスポーツ弁当をはじめ様々な商品開発、料理番組出演など幅広い活動を行っている。地域食材を使った料理と共にお酒を楽しむため、テニス、ゴルフ、ランニングで汗を流している。



(c) AOYAMA

《ご参考資料》

3. 日本製粉と為末 大氏からの共同メッセージ

昨今、教育の現場では、いじめやスポーツ指導の現場における体罰などさまざまな問題が起きています。これまでの1つの型にはめ込み、答えを求める教育から、意見を求める教育への転換期に来ていると感じています。

グローバル化により地位や年齢に関係なく、自分の考えを主張し、議論ができるタイプの人間が必要とされる時代になったのではないのでしょうか。

子どもたちには「為末大学食育学部」を通して、正しい栄養の知識、「他の人と考え方・意見が違ってても良いんだ」という“多様性”との共存を早い時期から感じとってもらいたいと思っています。また、体育の時間では、走り方やハードルの跳び方などを指導しますが、今までの自分より少しでも足が速くなることや高いハードルが跳べるなどの「成功体験」や「自分の目標は自分で決める」ことを学んでもらえたらと考えております。

教育の現場でがんばっておられる先生方のお話を伺うことも楽しみにしています。この授業を受けてくれた子どもたちの中から、将来世界を舞台として活躍する人がでてくれたら嬉しく思います。

4. 平成26年度「青少年の体験活動推進企業表彰」審査委員会奨励賞を受賞しています

「青少年の体験活動推進企業表彰」は、文部科学省が平成25年度より実施している表彰で、「青少年の体験活動の一層の推進に資するため、社会貢献活動の一環として青少年の体験活動に関する優れた実践を行っている企業を表彰するもの」です。

「為末大学食育学部」はその活動内容が認められ、平成26年度「青少年の体験活動推進企業表彰」審査委員会奨励賞を受賞しています。



以上